

不祥事防止への取組

取手市立桜が丘小学校
校長 横田 博江

教職員による不祥事は、信頼の上に成り立つ学校教育の根幹を揺るがす極めて重大な問題であり、ひとたび発生すれば児童、保護者、地域、さらには教育界に与える影響は計り知れず、絶対にあってはならないことです。子供たちにとって安心して学べる学校であるために、そして職員一人一人が自らの職責を全うするために、本校では服務規律の確保の徹底と未然防止に万全を期すべく、下記のように取り組んでいます。

記

1 服務規律の確保に向けた校内研修の実施

不祥事防止に向けて、すべての教職員が「自分事」としての意識を高めることができるように、本校ではトップダウン型（管理職が県の通知文や新聞記事等を活用して職員に伝える）やボトムアップ型（若手職員が中心となって企画・実施をする）によるコンプライアンス研修を、年間を通して組織的・計画的に実施しています。多岐にわたるさまざまな服務規律違反について、事例検討やグループ協議、専門家による動画視聴など多面的に研修を行うことで、未然防止に努めています。

2 定期的な自己点検の実施

教職員一人一人が「不祥事は起こり得るもの」という認識をもつとともに「自分の職場から不祥事を絶対に起こさせない」という強い決意のもと、「不祥事防止のためのチェックリスト」等を活用しながら定期的に自己点検を実施しています。また、いわゆる「ヒヤリ・ハット」の事例を取り上げ、自分自身を振り返るとともに原因や再発防止策について考えることも、多忙な業務の中に潜む事故の未然防止と加害者にならないための防止策と考え、機を見て実施しています。

3 教職員同士のコミュニケーションを大切にしたい、風通しのよい職場環境づくり

教職員一人一人がストレスをため込んだり孤立したりしないために、日頃から教職員間のコミュニケーションを大切にしています。ストレスチェックを活用した個々の状況の確認だけでなく、定期的な面談や声掛け、違和感（元気がない、いつもと違う）の共有など、同僚性を高め職員が話しやすいと感じる風通しのよい職場環境づくりに努めています。

桜が丘小学校の教職員一同、未来を担う子供たちを支え導くという教育公務員としての使命感と誇りをもって、「みんなが主役 桜っ子」のスローガンのもと、子供たちの笑顔と健やかな成長のため信頼される学校づくりに努めてまいります。